

# 島根大学支援基金へのご協力のお願いと 島大会員のご案内

島根大学は、昭和24年の創設以来、島根県にある国立大学「地（知）の拠点」として、知的・文化的水準の向上に貢献するとともに、様々な分野で活躍する約6万人の有為な人材を世に送り出してきました。

本学は、これからも「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」として、県内をはじめ広く国内外で活躍できる人材を養成して参りますが、本学の使命を果たしていくためには、運営費交付金に依存しない財政基盤の構築が不可欠です。

このような中、平成18年度に設立した「島根大学支援基金」につきましては、これまで多くの皆様にご協力をいただき、学生の修学支援等に活用させていただきました。特に昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により修学が困難となった学生への支援として学内外から多くのご寄附をいただき、「新型コロナウイルス感染症に係る緊急学生一時金」や「新型コロナウイルス感染症に伴う特別授業料免除事業」など速やかな学生支援を実施することができました。このことは、困難に直面している学生への大きな励ましとなっております。皆様からのご支援とご協力に心から感謝申し上げます。これからも経済的な理由により修学が困難な学生や、海外留学でグローバルな感性や視点を身につけようとする学生等の活動を後押しするため、一人でも多くのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

また、平成29年10月には、同基金を通じて本学を応援してくださる皆様と絆を深めていくことを目的に「島大会員」を発足させました。会員の皆様には、本学の活動等に係る情報発信、会員相互或いは本学と会員とのより良い関係を築くための交流企画の他、寄附金額に応じた特典をご用意しておりますので、是非ともご加入いただきますよう、併せてご案内申し上げます。

国立大学法人島根大学

学 長 服部泰直



島根大学  
支援基金

グローバルな感性と社会人力を身に付け、  
自ら学ぶことのできる学生を支援

お問い合わせ先：島根大学総務部 総務課 支援基金担当  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 TEL.0852-32-6015  
E-mail : sienkk@office.shimane-u.ac.jp

## ご寄附の使途

### A 経済的理由により修学が困難な学生に対する支援

#### 「夢チャレンジ奨学金」の支給

本学には、経済的理由により日々の学生生活に困窮している学生が数多く在籍しています。「夢チャレンジ奨学金」はこうした学生に支給し、経済的理由により学業を断念することがないよう負担の軽減を図ることを目的としています。

学部の1年次入学生を対象に、入学時の経済的負担を軽減し、経済的理由により学業を断念することなく、充実したキャンパスライフや将来の夢実現に向けたチャレンジができるよう応援することを目的に創設された奨学金です。

#### 「新型コロナウイルス感染症に係る緊急学生一時金」の支給

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経済的に困窮している学生を支援することを目的としています。食費や生活費などに困っている学生を支援します。

#### 「新型コロナウイルス感染症に伴う特別授業料免除」の支給

新型コロナ感染症の影響により卒業及び修了を断念することなく、本学の学生が継続して修学することができるよう支援することを目的としています。

### B 大学の教育・研究活動等に対する支援

#### 「学生ベンチャースタートアップ支援奨励金」の支給

本学は島根大学発学生ベンチャーを応援しています。このため、ベンチャービジネス、NPO及びNGOの設立を目指し、起業活動をおこなう本学の学生（学部生・大学院生）に奨励金を支給し、経済的負担の軽減を図ることで、島根大学発学生ベンチャーを推進しています。

#### 「グローバルチャレンジ奨学金」の支給

本学の目標として、グローバル化の推進並びにグローバルな視野を持った人材を養成するため、学生の海外派遣数を増加させることとしています。これを推進するため、留学や海外研修等にチャレンジする学生に「グローバルチャレンジ奨学金」を支給・支援しています。

#### 「中長期インターンシップ支援金」の支給

中長期インターンシップを活用して実務的なスキルや経験を積み、自分の適性や実力を把握しようとする学生や、地域課題解決型教育（PBL）を通じて地域の課題解決に貢献しようとする学生に「中長期インターンシップ支援金」を支給して応援しています。

### C 附属学園の教育活動等に対する支援

#### 附属学園の教育環境の整備

教育学部附属学園の幼児・児童・生徒の教育活動の充実のほか、教育実習や現職教員研修など附属学園の役割・特色でもある教員養成・現職教員研修機能の充実を図ることを目的として、附属学園の施設設備等、教育環境の整備を支援しています。



### D 次世代たたらプロジェクトに対する支援

#### 「次世代たたら奨学金」の支給

本学は、金属材料分野における高度人材の育成と世界最高水準の研究拠点づくりを行うため、オックスフォード大学のロジャー・リード教授をセンター長に迎え「次世代たたら協創センター」を設置し、県内就職率の向上や研究成果の還元を進めることで金属・特殊鋼関連産業の振興に貢献します。

「次世代たたら奨学金」は、この分野で活躍が期待される大学院生、学部学生への研究等支援や、大学院生へのオックスフォード大学への研修渡航等を支援しています。

### E 学生、不安定な雇用状態にある研究者の研究活動に対する支援

#### 「学会発表等に関する奨学金」の支給

本学の大学院に在籍する学生のうち一定の条件を満たす学生を対象に学会等で発表等を行う際の旅費等の一部を支援しています。

## F しまね未来人財育成に対する支援

【2021年度新設】

## 「県内定着奨学金」の支給

島根県の将来を支えていく意欲を持つ優秀な人材を育成するとともに、島根県内への企業等に就職を希望する学生を増やし、県内定着促進に寄与することを目的としています。

島根県内の事業所等に就職を希望する学生に奨学金を支給します。



**冠寄附** 50万円以上のご寄附については、基金の用途A～Fをご選択の上、「寄附金名称」「使用目的」をつけることができます。(名称例：「島大太郎基金」 目的例：「海外留学支援」等)

## 寄附金額および支払い方法

## ●1口 5,000円 (毎月の継続寄附の場合は1口500円～)

本基金の趣旨をご理解いただき、複数口でのご協力をお願いします。

## 1. ゆうちょ銀行口座へ振込む場合

- 付属の「払込取扱票」により、必要事項をご記入の上、お振込ください。  
「払込取扱票」は「寄附書」を兼ねていますので、付属の「寄附書」はご返送不要です。  
ただし、冠寄附を希望される場合は、「寄附書」に必要事項をご記入の上、ご返送ください。
- 振込手数料は本学負担です。ただし、令和4年1月17日(月)より、窓口やATMでの払込みの際、**現金でのお振込みの場合には、1件ごとに110円の加算料金**が発生します。振込手数料を本学負担とする「払込取扱票」であっても、寄附者様に加算料金が発生しますのでご了承ください。なお、通帳またはキャッシュカードを利用し、口座からお振込みの場合は加算料金は発生いたしません。
- ゆうちょダイレクトをご利用の場合は、付属の「寄附書」に必要事項をご記入の上、ご返送ください。

## 2. 山陰合同銀行口座へ振込む場合

- 金融機関窓口、ATM、ネットバンキング等で下記口座へお振込ください。
- 振込手数料はご自身で負担していただきますので、あらかじめご了承ください。
- **付属の「寄附書」をご記入の上、ご返送ください。**また、「寄附書」に記載のお名前でお振込ください。

金融機関名	支店名	種別	口座番号	口座名
山陰合同銀行	島大前	普通	3689197	シマネダイガク (シエンキキン)

## 3. クレジットカードをご利用の場合

- 本学ホームページからお申込ください。
- 付属の「寄附書」はご返送不要です。

支払い方法は、以下の①②③④よりお選びいただけます。

- ① 毎月の継続寄附 ————— 毎月1口500円～
- ② 年2回(7月と1月)の継続寄附 ——— 1回につき1口5,000円～
- ③ 年1回の継続寄附 ————— 1回につき1口5,000円～
- ④ 今回1回のみのお寄附 ————— 1口5,000円～



島大 支援基金

検索

※個人情報保護法に基づき、寄附書に記載いただいた情報は、「島根大学支援基金」事業に関わる業務(お礼状、領収書の送付、寄附者一覧作成、島大会員制度、基金推進活動に関すること等)以外には一切使用いたしません。

## 税制上の優遇措置

島根大学へのご寄附は、個人・法人等を問わず、寄附金控除の対象となります。

### ◎個人からのご寄附（所得税法第78条第2項第2号）

寄附金が2,000円を超える場合、その超えた金額が控除の対象になります。

#### ●「島根大学支援基金」 用途A・D・Eへのご寄附

寄附者様において税額控除または所得控除どちらか有利な制度を選択いただけます。

### どちらか有利な方を選択

**【税額控除】 所得税額から直接寄附金額の一定割合が控除**されます。

$$\text{所得税額} - [(\text{寄附金合計額} - 2,000\text{円}) \times 40\%]$$

※寄附金合計額は総所得金額等の40%が上限、税額控除額は所得税額の25%が上限です。

**【所得控除】 寄附された年の課税所得から控除**を受けることができます。

$$[\text{総所得金額} - (\text{寄附金合計額} - 2,000\text{円})] \times \text{税率} = \text{所得税額}$$

※寄附合計額は、総所得金額等の40%が上限です。

#### ●「島根大学支援基金」 用途B、C、Fへのご寄附

所得控除の制度が適用されます。

#### ●控除額の目安（所得金額：500万円の場合）

※右記はあくまでも目安となっております。収入の種類、各種所得控除等により変動が生じることがあります。

寄附金額	(2口) 10,000円
税額控除の場合	3,200円
所得控除の場合	1,600円

### ◎法人等からのご寄附（法人税法第37条第3項第2号）

全額損金算入が可能です。課税対象となる所得から支出した寄附額の全額が、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠に控除されます。

## ご遺贈による寄附制度について

ご遺言により、ご自分の築き上げられた財産を公益団体や特定の人物などに寄附することを遺贈といいます。島根大学では、遺贈によるご寄附をお考えいただいている方のため、高度な専門性と豊富な経験を有する信託銀行等と提携し、その手続きの便宜を図ることとしました。この制度にご関心のある方は、支援基金担当までお気軽にお問い合わせください。

## ご寄附への謝意

### ●大学ホームページ等へのご芳名掲載

年度内寄附累計額が5,000円以上の寄附者様のご芳名を基金ホームページ、広報誌（広報しまだい）に掲載させていただきます。

### ●感謝状の贈呈

年間（1月～12月）寄附累計額が100万円以上となった寄附者様（教職員を除く）に、学長から感謝状を贈呈いたします。

### ●支援基金寄附者御芳名板へご芳名掲載

平成29年1月以降の寄附累計額により、ご芳名を掲載させていただきます。

御芳名板は、松江キャンパス本部棟1F正面玄関に設置しております。

	ブロンズ板	シルバー板	ゴールド板
個人	10万円以上	50万円以上	100万円以上
法人・企業・団体等	50万円以上	100万円以上	500万円以上



### ●紺綬褒章

公益のために私財をご寄附いただいた方に授与される『紺綬褒章』に、ご寄附者のご意向を確認の上、公益団体認定を受けている本学から文部科学省に申請いたします。

授与基準に基き、500万円以上のご寄附をいただいた個人及び1,000万円以上のご寄附をいただいた団体を対象としております。

## 「島大会員のつどい」について

本学では、島根大学支援基金を通じて本学を応援して下さる島大会員の皆様に感謝の気持ちを示すとともに、本学と会員との交流を図ることを目的に「島大会員のつどい」を開催しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により初のオンライン開催とし、「学生の体験発表」、「学長との懇談会」、「医学部浦野教授によるコロナ研究紹介」等を実施しました。

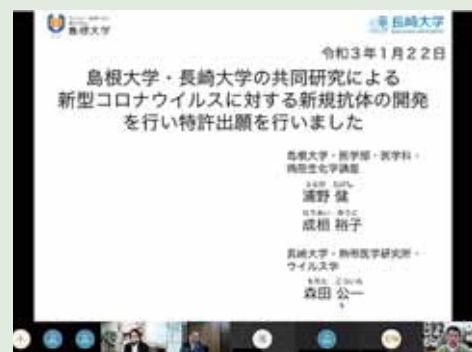
「学生の体験発表」では、「中長期インターンシップ支援金」の支援を受けた学生がインターンシップ先での経験や支援金の使い道などを発表し、「学長との懇談会」では、参加者からの質問に学長が答える形で双方向の交流を行いました。また、「医学部浦野教授による研究紹介」では、メディアでも取り上げられた「新型コロナウイルス治療用抗体開発に向けて」の研究紹介を行い、参加者は大変興味深く聞きました。

イベント実施後のアンケートでは、「学長とお話ができて光栄でした。」「学生の体験発表で支援金の活用がよく理解できた」、「母校の研究者が新型コロナウイルス治療用抗体の開発に果敢に取り組んでおられることに対して、卒業生として誇りに思う」などの感想がありました。

今後も島大会員の皆様に喜んでいただけるイベントを企画してまいります。



オンライン開催の様子



研究紹介の様子



## 島大会員加入方法

島根大学支援基金へ一定額（5,000円）以上ご寄附いただいた方はどなたでもご加入（永年会員）いただけます。支援基金寄附書等の島大会員入会希望欄にチェックし加入申込みをしてください。受付後、会員証をご送付いたします。



## 会員特典

島大会員には、年間（1月～12月）寄附累計額により、島大オリジナルグッズ等を贈呈します。また、本学と会員との交流を図ることを目的に「島大会員のつどい」を開催しています。

### ●ご寄附額による特典内容

ご寄附額	郵送によるイベントのご案内 広報誌送付(1年間)	島大カレンダー (4月始まり)	島大オリジナルグッズ
5千円～1万円未満	○	—	—
1万円～3万円未満	○	○	—
3万円～5万円未満	○	○	下記グッズAより1点贈呈
5万円～10万円未満	○	○	下記グッズAより2点贈呈
10万円～20万円未満	○	○	下記グッズAより3点贈呈
20万円～30万円未満	○	○	下記グッズAより4点贈呈
30万円～50万円未満	○	○	下記グッズAより5点贈呈
50万円～	○	○	下記グッズA・Bより6点贈呈 ※ただし6点のうちBからは1点のみ

※イベントのご案内、広報誌、カレンダー、オリジナルグッズ贈呈は島大会員様限定の特典内容です。

## 島大オリジナルグッズ一覧

※写真は昨年のもので、グッズは変更となる可能性があります。

**1** 出雲ブランド  
刺繍タオル

◎サイズ：330×830mm  
◎素材：綿100%

**2** スリムサーモ  
ステンレスボトル  
(ブラック)

◎サイズ：φ57×198mm  
◎容量：300ml

**3** スリムサーモ  
ステンレスボトル  
(ホワイト)

◎サイズ：φ57×198mm  
◎容量：300ml

**4** レザーボタン  
トレイ  
(リアルブラック)

◎サイズ：約138×138×40mm  
中身は商品に含まれません。

**5** テキスタイル  
モバイル  
アクセサリ  
ケース  
(ネイビー)

◎サイズ：158×100×37mm  
中身は商品に含まれません。

**6** 大学番茶

◎本庄総合農場製  
◎500g

**7** 島大農場ジャム  
(3本セット)

◎ゆず・りんご・ブルーベリー  
の3本セット  
◎本庄総合農場製  
◎190g×3本

**8** 出雲おろち大根  
みぞれソース

◎島根大学育成「出雲オロチ大根」を使用した万能ドレッシング。  
◎200ml×2本  
◎出雲市・山太販売

**9** 島根大学の芋焼酎  
神在の里

◎神西砂丘農場産さつまいも使用  
◎720ml

**10** 大学農場産トマト使用  
トマトジュース

◎720ml×1本  
◎大学農場産食用トマトを食塩不使用のジュースに加工

**1** ボールペン

◎クロス製  
◎サイズφ13.5×144mm

★ 印は本学名を名入れ

※広報誌（広報しまだい）の贈呈は学外者のみ。※島大会員への郵送によるイベントのご案内及び広報誌（広報しまだい）送付期間については、原則として最後にご寄附いただいた日から1年間とさせていただきます。なお、最後にご寄附いただいた日から1年経過後は、イベントのご案内は送付しませんが、ホームページ等でイベント情報を入手することによりイベントにご参加いただくことが可能です。

ゆうちょネットバンクを利用しての振込及び山陰合同銀行への振込は、以下の「寄附書」をご記入の上、ご返送ください。

## 寄 附 書

(フリガナ)  
●お名前 \_\_\_\_\_  
●おところ 〒 \_\_\_\_\_  
●生年月日 西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
●電話番号 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_  
●寄附の金額 ( 1 □ 5,000円 )  
\_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ □ ) 金 \_\_\_\_\_ 円  
●寄附の用途  
・A～Fよりご選択ください。  
・複数の用途にご寄附をいただく場合、それぞれに口数、金額をご記入ください。  
・選択されない場合、Aを選択されたものとしてお取り扱いいたします。  
 A 修学困難な学生に対する支援 ( \_\_\_\_\_ □ \_\_\_\_\_ 円 )  
 B 大学の教育・研究活動に対する支援 ( \_\_\_\_\_ □ \_\_\_\_\_ 円 )  
 C 附属学園の教育活動等に対する支援 ( \_\_\_\_\_ □ \_\_\_\_\_ 円 )  
 D 次世代たたらプロジェクトに対する支援 ( \_\_\_\_\_ □ \_\_\_\_\_ 円 )  
 E 学生、不安定な雇用状態にある研究者の研究活動に対する支援 ( \_\_\_\_\_ □ \_\_\_\_\_ 円 )  
 F しまね未来人材育成に対する支援 ( \_\_\_\_\_ □ \_\_\_\_\_ 円 )  
冠寄附(50万円以上)  A  B  C  D  E  F  
寄附金名称: \_\_\_\_\_  
寄附目的: \_\_\_\_\_

のりしろ(斜線部分ののりを塗ってください)

谷折り

谷折り

整理番号	受付年月日
------	-------

※①この寄附書をご記入のうえ、切り離して二つに折り、のりで貼り合わせてご返送願います

②入金を確認後、税制上の優遇措置を受けるための「領収書」等を送付いたしますので、正確にご記入願います。

個人情報保護法に基づき、寄附書に記載いただいた情報は、「島根大学支援基金」事業に関わる業務(お礼状、領収書の送付、寄附者一覧作成、島大会員制度、基金推進活動に関すること等)以外には一切使用いたしません。

### ●寄附者と本学との関係

- 一般(個人)     一般(法人・団体等)  
 卒業生・在学生(出身学部 \_\_\_\_\_ )  
 卒業生・在学生の保護者(出身学部 \_\_\_\_\_ )  
 教職員(所属 \_\_\_\_\_ )(□退職者)

### ●本学ホームページ・広報誌による氏名の公表

- 承諾する     承諾しない

### ●島大会員への入会(島大会員制度については別記のとおり)

- 入会済     希望する(会員特典あり)     希望しない

### ●島根大学への想い、島根大学支援基金へのご意見・ご要望等をご自由にご記入ください。

- ※本学のホームページ等でご紹介させていただく場合があります。  
 メッセージ掲載の際の匿名希望

この部分は切り取ってください。

02	広島	払 込 取 扱 票		通常払込料金 加入者負担						
口座記号番号		金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0 1 3 3 0 - 4		※								
加入者名		料	備考							
国立大学法人 島根大学		金								
通 信 欄	※ ●寄附の用途 A～Fよりご選択ください。複数の用途にご寄附をいただく場合、それぞれに金額の記載をお願いします。選択されない場合、Aを選択されたものとしてお取り扱いいたします。 <input type="checkbox"/> A 修学困難な学生 ( _____ 円 ) <input type="checkbox"/> B 大学の教育・研究活動等 ( _____ 円 ) <input type="checkbox"/> C 附属学園の教育活動等 ( _____ 円 ) <input type="checkbox"/> D 次世代たたらプロジェクト ( _____ 円 ) <input type="checkbox"/> E 学生、不安定な雇用状態にある研究者の研究活動 ( _____ 円 ) <input type="checkbox"/> F しまね未来人材育成 ( _____ 円 ) 冠寄附 (寄附金名称 _____ 寄附目的 _____ ) ●寄附者と本学との関係 <input type="checkbox"/> 一般(個人) <input type="checkbox"/> 一般(法人・団体等) <input type="checkbox"/> 卒業生・在学生(学部 _____ ) <input type="checkbox"/> 卒業生・在学生の保護者(学部 _____ ) <input type="checkbox"/> 教職員(所属 _____ )(□退職者) ●氏名の公表 <input type="checkbox"/> 承諾する <input type="checkbox"/> 承諾しない    ●島大会員への入会 <input type="checkbox"/> 入会済 <input type="checkbox"/> 希望する(会員特典あり) <input type="checkbox"/> 希望しない									
	※ (フリガナ) お名前 _____ 生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 ご依頼人 _____ 様 _____ 年 _____ 月 _____ 日 おところ(〒 _____ ) _____ ( _____ ) _____									
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 広第6128号)										
これより下部には何も記入しないでください。										

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。

## 振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 1 3 3 0 - 4	通常払込 料金加入 者負担						
	8 6 3 1 0							
加入者名	国立大学法人 島根大学							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ _____ 様							
料金	日 附 印							
備考								

この受領証は、大切に保管してください。

料金受取人払郵便

松江中央局  
承認

473

差出有効期間  
2023年3月  
31日まで

切手を貼らずに  
お出してください。

6908790

815

松江市西川津町1060

島根大学

総務部 総務課 行



山折り (切り取らないでください)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。